

平成 28 年度 第 1 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 28 年 7 月 1 日（金） 午後 1 時 30 分 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者

（委員）

北川博巳	会長	里尚	副会長
本間和典	委員	畠宏一郎	委員
水田節男	委員 [代理]	足立安夫	委員
中辻剛	委員	中村辰雄	委員
和田治	委員 [代理]	石田光	委員
黒坂公晶	委員	竹内崇訓	委員
永井正伸	委員	足立郁夫	委員
長田貴	委員	駒谷誠	委員

委員 16 名出席

（デマンド型乗合タクシー運営者）

藤本泰男

（オブザーバー）

岩原直子

4 欠席者 なし

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

(1) デマンド交通の状況分析について

(2) 路線バスの利用状況について

(3) 平成 27 年度の実施事業及び決算について

(4) 平成 28 年度の事業案及び予算案について

(5) 監査員の選出について

(6) その他

4) 閉 会

(事務長)

只今から平成 28 年度第 1 回の丹波市地域公共交通活性化協議会を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして有難うございます。本日は、平成 28 年度第 1 回目の開催であり、委員の方の交代もありましたので、改めて委員の皆様をご紹介させていただきます。

[丹波市地域公共交通活性化協議会 委員紹介]

それでは以降の進行につきましては会長にお渡しをいたします。どうぞよろしくお願い致します。

(会長)

お願い致します。平成 28 年度になり、委員の任期は 2 年目に突入しました。先程の交通政策係が復活したというお話ですが、行政の中でも交通に関する政策をこれからしっかり取って行きましょうという所がかなり増えて来ています。丹波市はデマンド(予約)型乗合タクシーが走り始めて相当な年月になる訳ですが、その効果の検証や見直しも必要だと思います。また広いエリアの中での幹線的な交通であるバスもしっかり見守らなければいけません。そういう意味では、この交通会議でしっかり協議しながら政策を立てて行くという事は非常に重要だと思います。またお気付きの点がありましたら、色々と教えて頂ければと思います。このようにデータをしっかり見ながら色々積み上げて、公共交通を守って行く、育てて行くという事が出来ればいいのではないかと思いますので、よろしくお願い致します。

今日は、デマンド交通、路線バスの確認もありますが、今年度第 1 回目ですので、事業の決算報告と承認、今年度予算の確認と承認が大きな仕事だと思いますので、よろしくお願い致します。

それでは、1 番のデマンド交通の状況分析について、説明の方よろしく申し上げます。

[デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙 1～別紙 15]

(会長)

デマンド交通の色々な資料をご提示頂き有難うございます。この様な資料を活用して、次をどう考えて行くかという事が非常に重要で、事務局としての成果取りまとめ、評価をして頂いております。その点を確認しつつ今の説明を聞いていますと、大分定着化しており、商店のご利用が増えているという状況が 1 つ大きなポイントだと思います。また、駅やバス停での乗り継ぎ、乗り換えについても去年より増えている状況が確認出来たと思います。資料をご覧頂いて、何かご意見ご質問等ありますか。

(委員)

「別紙 11」の曜日別の利用者数について質問です。金曜日が人数的に大きく、年度毎にも伸びて来ていると思うのですが、何か伸びている理由が分かれば教えてください。

(事務局)

今はその資料しかありませんが、オペレーターに確認したところ、金曜日は常に利用率が高い状況で、休み前にお買い物に利用される方が多いのではないかと考えております。

(委員)

生活パターンとか、病院の関係とかですかね。

(事務局)

木曜日は開業医さんがお休みということも関係するとは思いますが。

(会長)

確かに金曜日の休み明けの利用が多いですね。そういう日常生活のための利用ですね。その他よろしいですか。

(委員)

各自治会単位の集計で、登録者数、登録率が出ており、細かい分析がされていて非常によく分かるのですが、逆にもう少し大まかに、校區別くらいの形で様子を見たら何か違うことが見えてくるのではないかと思います。例えば、他の交通機関と含めての話がありましたが、路線バスの休止路線とデマンド利用との関係とか。バス停利用という点では、自宅から最寄りのバス停なのか、自宅からバス停まで行かないと電車に乗れないのかとか。25校区単位での集計が分かれば、その様な傾向が読み取れるのではないかと感じましたので、データから積み上げができれば、次回からでもお願い出来ればと思います。何故かと言いますと、今度病院が統合するという話との関係があります。デマンド(予約)型乗合タクシーについては、地域の色々な会合の中で、利用率も高くなって来ており、活用の仕方非常に効果があるという話に触れる事があります。一方、病院については、地域の中で地域医療を支えようという意味合いで市内の皆さんが新しい病院を活用するという方向で考えて行かないといけないということですが、例えば市島の方との会話では、福知山の病院に行くと市島の人と4人出会ったというような話があったり、また山南の方では西脇や大山に通院すると言われる方がおられる現状があります。逆に新病院が出来た段階では、やはり市も丹波市に出来る新病院の方に向けて、アクセスを考えて行かなければならないのではないかという気がします。色々とはあると思いますが、デマンドの活用をどのように見直して行けるのかという所も出て来ると思います。その様な1つの傾向を見るためにも、校区単位での傾向が分かればと気になった所です。路線バスがある所の利用者と路線バスがない所との関係がどうなっているのか、乗り継ぎが上手く繋がっていればいいのですが。全般的にデマンドの利用率が向上しているということは非常にいい傾向だと思いますが、前回の時には、自治会単位で見ても下がっている所がありました。これは人口構成等も関係しており、グラフで見ますと、高齢者70歳以上の所が50%を超えている、80代の方が90代になられた等の形態が変わっている事もあるかとは思いますが、高齢化率とその地域と、デマンドしか活用するものがない地域と路線バスと相互の乗り入れが出来る地域とは、やはり環境が違うと思う訳です。この辺の所をもう少し分析が出来れば、将来の傾向等が違う方法で見えて来るような気がしました。

(会長)

非常に良いご提案だと思うので、調べられる範囲でその傾向を引き続きモニタリング等して頂ければ有難いです。新病院の話については、地域の中である種の投入等があった時に、それをどう考えるかという所ですね。例えばそれは、買い物をする所や小さな町のお医者さんが開業した時も同様かもしれませんが、そういう所も想定に入れつつ、何か考えて行かなければならないという事が2点目です。3点目は、バスを上手く使うという方法もあり得るという話です。例えば、デマンド交通の資料で傾向が分かると思いますが、どのバス停で乗換行動が多いかが分かると、そのバス停は結構拠点となり得る所なので、周辺整備を考えたり、ランク別、レベル別に分けるという話も出て来ると思います。駅もそうなのかもしれません。あと公共施設とか自分達が手を入れやすい様な所は、交通政策全般の中で考える必要があり、デマンドだけ、バスだけでなく、例えばバスを待つ所もそうですし、アクセスのしやすいことを考えた場合には、道路も考えなければならない、その様な話も出て来ると思います。急には大変かもしれませんが、事務局として把握しておいてくださいという話だと思しますので、よろしくお願いします。その他よろしいですか。

(委員)

「別紙5」リピーター率の表の中に取消申出という項目があり、平成27年では2人の方が取消をされています。取消の理由と合わせて、リピーター率を今後高めていくために、取消をされた方の理由を踏まえて、何か改善に向けたアクションを起こしておられるかどうかを教えてください。

(事務局)

取消申出については、ご本人等からもう使わないので利用者名簿から削除してほしいとの申し出があった場合の区分としております。通常、取消申出のお電話を頂いた時には、今後もご利用頂きたいという事で取消はせずに名簿に残しておかれたらどうですかというご説明をさせて頂いている所です。ただ、ご家族の方から本人は高齢で、例えば施設に入ったので利用しないという様なお申し出があった場合には、取消をさせて頂いている状況です。

(委員)

取消の理由として、例えば予約が煩雑だからとか付帯の理由という所までは聞かれていないのですか。

(事務局)

その様な理由での取消申出は今までないと思います。家の方に送ってもらう等の理由で、今後は利用しないから削除してほしいという旨の申し出がほとんどの状況です。

(会長)

8時便についてですが、「てくてくたんば」で利用が少ないので8時便がお勧めですとい

う旨の記事を書いた記憶があります。意外とそういうものを見て頂いている様な気もしますが、何か手応えみたいなのを感じませんか。

(事務局)

オペレーターに確認したところ、やはり9時便、10時便が最も多く、予約時に「まだ乗れますか」という様なお電話を頂いた時には、大体月曜日が少ないですよとか、8時便は少ないですよというアナウンスをさせて頂いている様な所からご利用が増えている状況もあるのではないかと思います。

(会長)

オペレーターに頼る所がありますが、引き続きの情報提供が必要だと思います。我々は会議で毎回動向を見ている訳ですが、利用されている方は全然知らない情報ですからね。その情報提供の場が「てくてくたんば」だと思うので、特集等を考えて頂けたらと思います。その情報で利用者側の動きが変わるのであれば大変大事な話ですので、丹波市地域交通のソフトウェアとして上手く考えて頂ければと思います。御手間をかけますが、よろしくお願いします。

それでは2番目、路線バスの利用状況について、説明をお願いします。

[路線バスの利用状況について説明 資料：別紙16～別紙17]

(会長)

有難うございます。バスの利用は少し減っていますけれども、これについて何かありますか。

(委員)

路線バス利用者が減少していますが、例えば高齢者の方が乗りやすい低床バス等が全体の何%なのか分かりますか。

(委員)

現在、丹波市内ではノンステップの車両が2台運行しております。もう1台はワンステップで、昔ながらステップの高いものは走っておりません。平日は3台、4台、土日は1台で運行しております。

(委員)

その車両形態が減っている要因の1つではないかという仮説だったのですが。

(会長)

このデータは、全国的に結構似たようなグラフになっています。公共交通会議が結成されて、何等かの対策をとったのがどこも平成23年頃で、そこで一気に変えたのだと思います。丹波市も小型低床車両のポンチョを導入して、ダイヤも変えて、バス停も変えて等

を実施したので、何かバス変わったなという形で定着してきたと思います。しかしながら、特に就学人口の減少が、かなり大きな理由だと思います。ですから逆に言うと、高校や中学の通学をしっかり支えるという事を意識しなければいけないのではという所もあるし、今一度バスについてはよく調べる事も大事ですし、それから時々マイナーチェンジすることも必要だと思います。やはり1つくらいやっても、なかなか効果が出て来ないと思うと、2つ3つと複数、多数で考えなければいけないのではという所も感じております。とはいえ1路線につきましては、減って増えて減って増えてみたいな所がありますから、やはりこの点は事業所さんのご意見等も聞いた上で、しっかりと修正を諮って行くという所が重要ではないかと思っております。

あと事業者の方から何かお気付きの点等ありますか。

(委員)

柏原―青垣線については、バス停を変えたりして一時的に増になりましたが、原因は掴めていないのですが最近少し減っております。しかしながら、今年度4月から中高一貫教育になった氷上西高校の生徒さんが、柏原駅7時22分発のダイヤについては、丹波市の小型車両で乗り切れないような状態となっております。特に雨の日は、私共の中型車両と入れ替えて運行している状態です。ですので、次の機会には利用増として挙がるのではないかと考えております。春日地域については、やはり小学校の生徒さんの減少が大分影響しているのではないかと考えております。山南地域については、谷川―坂尻間が山南町域内の運行であり、デマンドとの競合も考えられます。平日は1人、2人の乗客ですが、デマンドの運行がない休日は5人、6人と乗られております。はっきりしたことは掴めませんが、その影響があるのではないかと予想はしております。

(会長)

有難うございます。的確な情報だと思います。本当に生き物みたいな状況ですから、しっかりチェックして、時々学校等の話も聞きつつ、どの様に対応していくかという所も考えなければいけないという事だと思います。今年度は利用者数が上がるかもしれないという所が朗報ですね、引き続きよろしくお願ひします。その他よろしいですか。

それでは次は3番目、実施事業及び決算について、説明をお願いします。

[平成27年度の実施事業及び決算について説明 資料：別紙18～別紙20]

(会長)

有難うございます。では決算監査の報告をお願いします。

(委員)

それでは監査報告をさせていただきます。平成27年度会計帳簿及び収支決算書につきまして、通帳、帳簿並びに関係書類等を厳正に確認させていただきました結果、適正かつ正確な処理がなされておりましたことをここにご報告申し上げます。

(会長)

有難うございます。実施事業の報告、決算につきまして、何かご質問等ありますか。当初より少し市の持ち出しが減ったのが良かったという所でほっと一安心です。機械を扱う関係からすると、これからも予断を許さないという状況でありますので、引き続き運賃収入を上げて行く取り組みをしなければいけないのではないかと考えます。そうなれば、旧町を跨いで遠い所まで行ってほしいとなると、かなり運賃収入が減りますので、改めて見てみると、やはり小さいエリアを頻繁に運行して収入を上げて行くという事も実は非常に大事なのではないかとこの所が見えて来るのではないかととも思います。その他よろしいですか。

次は4番目、本年度の事業案及び予算案について、説明をお願いします。

[平成28年度の事業案及び予算案について説明 資料：別紙21～別紙23]

(会長)

有難うございます。本年度事業案と予算案につきまして、何かご質問等ありますか。大きなポイントとしては、システムが更新されるという話があります。更新そのものは安心ですが、利用料が必要という所です。また運行費が5日分増えるということで、実際に経費引く運賃というのが運行費になってきますので、やはり運賃収入がどうあるべきかをよく考えていかなければいけないという所です。そのためには利用促進をという話があるので、結構色々考えて頂いているという所ですが、何かありますか。

(委員)

これから2年後に丹波市地域医療総合支援センターが出来るということで、病院だけではなく、福祉においても子どもから高齢者まで様々な中核的な役割を示すセンター的な場所にもなるという事であり、同時に地域では総合事業ということで、介護保険制度内での対象者の枠が増えて、自治会公民館や公共施設に行く方が増えて来るだろうという推測が出来る訳です。その上においては、前半にも話が出ていましたが、路線バスや他の公共交通機関とデマンド(予約)型乗合タクシーとの繋がりがすごく大事になって来るのではないかと考えられる訳です。そうなった時に、実績として上っている内容、数字の変化から想定出来る可能性というのは話が出る状況にあるとは思いますが、デマンドが始まって5、6年になり、期間的にどうかという訳ではないですが、軌道に乗ってきて、1,000回利用される方も出てきているというタイミングに合わせるならば、例えば金曜日に利用者が多い理由やリピーターの方のキャンセル理由等の利用者のアンケート調査やニーズ調査をする中で、先に向けた課題を具体的に整理して行く様な動きはとれるのかどうかという点が気になっています。

(会長)

そもそもデマンドの運行を開始する前に、地域でのかなり大きい調査等色々な事をやりました。確かに5年経過すればデマンドそのものがどうかという話と、今回30年度に病院開設という話があるので、例えば需要予測に何か使えないか等の調査を展開して行った方

がいいのではないかというお話だと思います。予算の面もあるとは思いますが、例えば来年度に少し実施するとか、そのために今年度に項目についての準備をしますとか、そういう展開は考えられるのではないかと思います、いかがですか。

(委員)

この問題につきましては、議会からも随分色々と聞いております。当方としましては、運行から5年を経過した中で今後どのように進めるか等の検証という事は、新病院の関係も含めて良い時期ではないかと思っておりますので、何とか29年度に調査費の予算化をして実施出来る様にして行きたいと考えております。

(会長)

看護学校、支援センター、地域包括等の拠点みたいな仕事がお互いにあります。その中で絶対出て来るのが、デマンドで病院まで直接行ってほしいという話だと思うのですが、この問題をどのように考えるかという所もしっかりやらないといけません。例えば、距離が長くなればなるほど運賃収入は間違いなく減るので、その辺のバランスをどうするかということ。また、路線バスを充実させてしっかりやるとなると、幹線の整備やバス停の話等が出てくると思います。交通網としてどう考えていくか、そういう関係を1つの軸に協議をしながら決めていくという作業が29年度のタイミングと考えるのであれば、今年度から進めなければなりません。交通会議は年3、4回開催しますし、私もお支援しますので、是非展開が出来ればと思っておりますので、よろしくお願ひします。結構大きな話でしたが、その他何かありますか。今年度の事業計画、予算の成立要件として必要なので、ご承認ということでよろしいですか。それから交通会議のテーマとしては、新病院についての話を今年度しっかり始めて行きましょうという所でお願ひしたいと思ひます。

それでは次に5番目、監査員の選出について、説明をお願いします。

[監査員の選出について説明]

(会長)

具体的にはどうでしょうか。習わしに従ってという形になるかとは思ひのですが、事務局から何か提案はありますか。

(事務局)

昨年度監査員をお世話になりましたのは、●●委員と●●委員です。本会の委員皆様の任期は今年度一杯ですので、今年度の任期満了までは、引き続き●●委員と前任の●●委員から代わられました●●委員にお世話頂けたらどうかと考えております。

(会長)

●●委員は引き続きよろしいですか。はい。

(会長)

●●委員はいかがですか。今年度の監査をして頂くということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。つつがなく監査員が決まりまして、次はその他、次回の開催日ですね。

(事務局)

先程の事業案で9月頃とさせて頂いております。昨年は10月の開催でしたが、「てくてくたんば」の発行前くらいに予定をさせて頂けたらと考えております。詳細につきましては、会長と調整をさせて頂ければと考えております。

(会長)

今回は9月頃ということで、急に案内が来るかもしれませんが、よろしくお願ひします。それでは議事はこれで終わりですが、その他何かありますか。実は警察の方にお聞きしたいのですが、最近免許を返納すると結構色々の特典を付けていると思うのですが、管轄内での動きはどうですか。交通事故の話も知らなくてはいけないかなと思うのですが、高齢者の関係とかいかがですか。

(委員)

免許の関係につきましては、毎日1名から2名の高齢者の方が警察署の方にお来しになり、運転免許証を返納して頂いております。丹波市におきましては、免許の返納者に1万円の商品券を配布して頂いておりますし、運転経歴証明書の取得の際に購入が必要な1,000円の証紙につきましても後日還付されるという、他の市町村にはない特に手厚い制度になっておりますので、正確な所までは把握はしていませんが、他の管轄に比べますと返納率は高いのではないかと考えております。交通事故の情勢につきまして簡単にご説明申し上げます。丹波市内における今年度の死亡事故の件数は4件となっております。上半期だけで昨年度の死亡事故件数の3件を超えてしまっているという少し危機的な状況であると考えております。下半期には、死亡事故を1件も発生させないということで取り組みを進めている所です。人身事故の件数につきましては、5月末現在で93件となっており、昨年度と比べると若干増えています。県下全体の情勢としては減少傾向にありますが、丹波市内においては若干増加しておりますので、人身事故の発生につきましても、パトロール等で抑えていければと考えている所です。

(会長)

有難うございます。毎日返納に来られているということなので、是非パンフレット等からでも少しお話して頂くと有難いですね。デマンド(予約)型乗合タクシーがあり、代わりの交通手段ですよという話や、路線バスは運賃が半額になりますよとか、タクシーも1割引になりますよとか、その様な代わりの提示があるということが安心して生活が出来るということになりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。それから、今年度早々に障害者差別解消法が施行され、それには合理的配慮をなさいという話があり、公共交通の合理的な配慮のノウハウのパンフレットを作っている所です。また出来上がり次第に事務局の方に幾つかの情報提供の報告をさせて頂こうかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。やはりデマンド(予約)型乗合タクシーでも障害を理由に乗れないと

いうことは本当は駄目な話で、その辺もテーマとしてじっくりと考えないといけないので、よろしくお願ひしたいと思ひます。その他何かありますか。タクシーの方からは何かありますか。

(委員)

前回は5年経ったら見直すという話の中で、新病院が出来た時点で予算を一度見直してはという話だったと思ひます。タクシー業者の中では、5年も過ぎれば走行距離も10万キロを超える状況となり、メンテナンスの件もありますので、それで大体5年でと言われたという風に記憶しております。それともう1点、運行経費については決まった時間料金を貰っているのですが、当初その案を提出した時点では2,000円と消費税という算出をさせて頂いたという経緯があります。私共の考え方では、消費税が改正となった際には必然的に時間料金も変更となるものと思っておりますので、今後の問題として提案したいと思ひます。

(会長)

税率に伴う見直しについては、検討事項であると思ひます。その他よろしいですか。この様に色々な立場の調整をし合う会議が、これから益々重要になって来ると思ひます。本年度も3回、4回あると思ひますが、引き続きよろしくお願ひします。

最後に副会長にお渡しして終わりにしましょう。

(副会長)

本日はご苦労様でした。新年度の初めての会議でしたし、一部交代された委員の方々もおられます。先程、事業計画並びに予算の方もご支持頂いて決定されました。今年度は1つの大きな節目の年ですから、新病院の話もありますし、皆さんでこのデマンド(予約)型乗合タクシーを中心とした公共交通の活性化を更に進めて行くという事で頑張っていくかなければならないと思ひます。

どうも本当にご苦労様でした。お気を付けてお帰りください。